

地域イノベーション戦略支援プログラム 富士山麓ファルマバレー戦略推進地域 (国際競争力強化地域) 終了評価結果

(1) 地域イノベーション戦略支援プログラムの概要

- 総合調整機関：公益財団法人静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター
- プロジェクトディレクター：植田 勝智
- 地域イノベーション戦略支援プログラムのテーマ：
革新的ながん診療技術の開発と地域企業の医療健康産業参入支援による医療健康産業クラスターの形成
- 地域イノベーション戦略支援プログラムの概要：
静岡県立静岡がんセンターを核にしたファルマバレープロジェクトの活動実績を基に、地域内外の大学、研究機関、企業等が連携して研究開発を促進させ、がん医療発展に貢献する。加えて、産学金官連携により地域企業の医療健康産業分野での事業拡大と参入を図り、臨床ニーズに応える製品開発や医療機器メーカーへの部品供給等を通じ、国内外の販路拡大を進める。これにより医療健康産業クラスター形成と地域産業活性化を目指す。
- 支援メニューごとの補助事業者
 - ・ 大学等の知のネットワーク構築：
公益財団法人静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター

(2) 総評（総合評価：A）

静岡がんセンターを中心に先駆的なプロジェクトに取り組み、参画企業数が増加し、事業化がなされるなど、多くの地域イノベーションの創出を実践している。企業の投資の誘引や有力企業の研究開発機能の誘致に成功している点や地域外のシーズも積極的に活用している点は評価できる。一方、海外展開への取組は途上と言え、今後、本地域から世界に進出し得る技術・製品の継続的な支援が期待される。

【地域イノベーション戦略支援プログラムの進捗】

・ 目標の達成状況

目標の達成状況については、特許等出願数は既に達成、事業化数は達成見込み、査読論文数も概ね達成の見込みである。

・事業化

43事業所が医療機器製造業登録・製造販売業許可を取得して、医療機器分野に新規参入を果たしたこと、参画企業が増え、いくつかの企業で事業化の事例が生まれていることは高く評価できる。また、地域とつながりの深いプリンタメーカーが既存の技術を活用し開発した微細粒子製造技術は、海外の製薬企業への技術供与等の可能性もあり、今後に期待したい。一方で、国際的な拠点と認知されるには、一層の取組が必要である。

【事業推進体制】

・プロジェクトディレクター及び総合調整機関

総合調整機関は、企業の医療機器分野への新規参入や事業化に向けた支援を十分実施している。また、研究開発や人材育成への支援も適切に行っている。ファルマバレーセンターの所長がプロジェクトディレクターを務めており、他の機関やプロジェクトとの連携・調整を行っているが、県域を越えたネットワーク形成や各コーディネータの活動の把握・指導については、不十分な点も見られる。

・補助事業者の構成

補助事業者は、ファルマバレーセンターのみであるが、「大学等の知のネットワーク構築」に積極的に取り組んでおり、実績を上げつつある点は評価できる。一方で、国際展開については、海外のヒト・モノ・カネを惹きつけ得る当地域のポテンシャルを生かしきれず、より積極的な取組を期待したい。

・予算配分や研究テーマの検討

外部評価委員が設置されており、分野や業種のバランスのとれた外部評価委員により適切な評価が行われたと考えられるが、予算配分や研究テーマへの反映は明示されなかった。

【イノベーションエコシステムの形成・高度化】

・環境・意識の変化

イノベーション創出拠点として静岡県医療健康産業研究開発センターを整備した点は高く評価できる。地域連携コーディネータ等による入居企業への支援・連携促進等により、シーズから事業化への流れが構築されており研究者の事業化意識の向上も図られている。また、人材育成プログラムに取り組んでいる点も評価できる。

・マーケティング・成果発信の状況

地域連携コーディネータの経験を生かしたマーケティング活動が行われており、現場のニーズを吸い上げ、製品化等につなげる仕組みが構築されている。しかし、海外へのマーケティングは、静岡がんセンターの学術的な発表や参画企業の活動に頼りがちであり、今後の努力が期待される。

・波及効果・資金確保

静岡がんセンターの研究活動による成果と本事業による活動の成果との区別が難しいが、金融機関から地域企業への融資や民間企業との共同研究等により、外部資金獲得が進んでいる。また、地域企業の資金調達に加え、知的財産やレギュレーションに関する支援も実施するなど、静岡県医療健康産業研究開発センターの整備に伴う波及効果は表れている。

【各支援メニュー】

・大学等の知のネットワークの構築

専門性に優れた地域連携コーディネータを配置し、ネットワークの形成、マッチング、人材育成、知財、企業に対する伴走型支援等で実績を上げている。今後は、世界的な医療関係企業が立地する静岡県の優位性を一層活用し、さらなる成果を創出することが期待される。